

## メッセージ

代表執行役社長

足達 信章

2019-2028年度

## 長期経営ビジョン

10年後の指月グループのあるべき姿

挑戦する社風へと変革し、  
品質第一のモノづくりと、  
未来を見据えた新技術・新商品の開発、  
グローバルな事業展開の推進により、  
社員の夢を実現し社会に貢献する  
企業グループになる

## 個々の挑戦がつながり、大きな力へ。

上期の最高売上高を更新。  
能力と収益力の向上をはかり、さらに前へ。

2023年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類へと引き下げられたこともあり、経済は再び活発な動きを取り戻しつつあります。しかしその一方で、世界情勢の不安定化や素材・エネルギー価格の上昇が依然として続き、私たち指月電機グループのものづくりにも、少なからぬ影響を与えています。

このような情勢のもと、xEV用コンデンサはお客様の在

## 中期経営計画

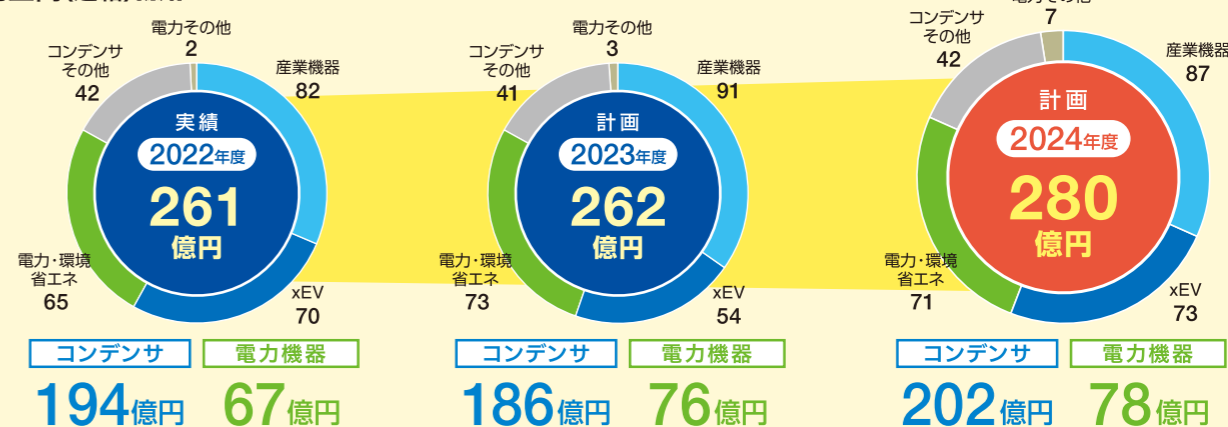
第Ⅰ期 2019～2021年度

第Ⅱ期 2022～2024年度

第Ⅲ期 2025～2028年度

第Ⅱ期には、パワーエレクトロニクスの普及に貢献するため、事業拡大を強力に推進します。  
また、エネルギーマネジメントのニーズの高まりを見据え、製品の機能拡張や市場開拓に挑みます。

売上高(連結) [億円]



206.1%の増加)となり、本来の収益性を取り戻そうとしています。さらに、シツキの強みである電力マネジメントの技術や知見を活かし、市場に新しい提案を投げかけるようなチャレンジも動き出しています。(本誌5ページのトピックスにて開発中の新商品「EXCEV」の情報をご紹介します) 仕入れ価格やエネルギーコストの上昇は今も続いており、依然として厳しく、先行きの不透明な状況ではありますが、「挑戦する社風への変革」を掲げる長期経営ビジョンに向けた一人ひとりの挑戦が、事業や拠点を越えた技術共有や“知の融合”として各所で実を結びつつあり、お互いに成果を分かち合えるような場面も生まれています。これからもグループ丸となって市場と向き合い、現場と向き合い、たゆまぬ改善と挑戦を重ねていく所存です。

庫調整などにより受注が低迷したものの、コロナ禍を抜けて電鉄車両向けのニーズが復調したことや、太陽光発電のパワーコンディショナや力率改善装置などの需要の高まりが減収分を吸収するかたちとなり、当社グループの第2四半期連結売上高は前年同期比2.3%増加の12,746百万円、上期としての過去最高値を更新する運びとなりました。

そして、営業利益につきましては、お客さまのご理解や現場の粘り強い対話に支えられ、素材・エネルギー価格の高騰に応じた価格転嫁が進んだことで414百万円(前年同期比

## メッセージ

# 現場と向き合い、市場と向き合う。 そこから、新しい挑戦が始まる。

## 自ら課題を見つけ、解決する力を養う。 生産現場から生まれた、自発的な教育活動。

私たちシヅキは、「環境の変化に適応できるよう進化し、人も組織も生まれ変わっていく」という考え方のもと、「JIS(S(シムス))」という独自の統合マネジメントシステムを構築し、社内の生産体制を常に検証するよう努めてきました。

今なお原材料費やエネルギーの高騰と円安が続く中、厳しい環境の変化こそ次へと進むための好機と捉え、一人ひとりがJIS(S(シムス))の実践者となって、より良い生産手法を探し求めていくことが重要だと考えています。そして、中期経営計画第III期を見据え、さらなる生産技術の向上のために人員の増強も進めています。

生産現場からも、自発的な取り組みが生まれつつあります。たとえば秋田指月では、現場でものづくりをリードする班長クラスの人材の再教育に取り組み、「自ら課題を見つけ、解決へ向けてチームを率いる力」を養っています。生産ライ

ンを完全に離れ、数名の指導者たちのもとで時間をかけて行う教育活動は、一時的には非効率的なものとして目に映るかもしれませんが、教育の成果は着実に表れてきており、他工場へ赴いて改善の指導・支援にあたるようなリーダーも育ってきました。

## 電力マネジメントの新しい考え方を、 市場に問いかける。

「挑戦する社風への変革」を第一に掲げた長期経営ビジョンの策定から、およそ5年。まだ道半ばではありますが、工場や事業という垣根を越えた連携が進み、一人ひとりの挑戦が、組織の大きな力として実を結びつつあるのを感じます。拠点が遠く離れた工場同士でも、お互いに良いところ、見習うべきところを積極的に活かし合える関係が育まれ、労働力としての協力ではなく「生産力」そのものを協力しながら高め合っていける風土が根づきつつあります。

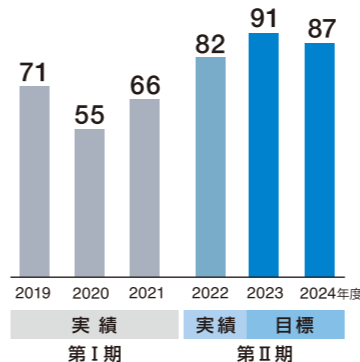
2023年9月には、幕張メッセで開催された「グリーンファクトリーEXPO」に出展し、開発中の新しい商品を発表しました。電気自動車のバッテリーに蓄えられた大容量の電気を工場や施設の電力運用に活かすという発想から開発に取り組んでいる「EXCEV(エクシーブ)」は、市場に電力マネジメントの“新しい考え方”を投げかけるような、挑戦的な試みとなっています。従業員一人ひとりの意識が市場に向き、

## 〈重点事業の売上高実績と目標(連結)〉

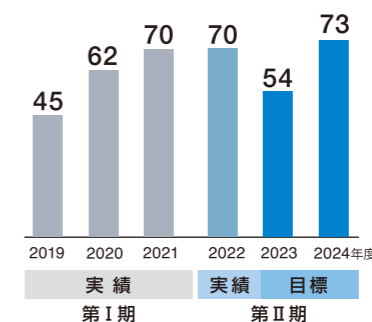
[億円]

### コンデンサ・モジュール

#### 産業機器

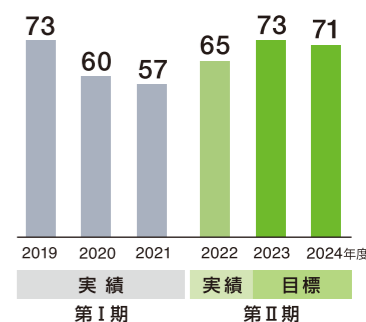


#### xEV



### 電力機器システム

#### 電力・環境省エネ



お客さまに向くことで、こうした新しいチャレンジが世に出ていくことをうれしく思っています。実際に展示会場でも、多くのお客さまとの対話が生まれました。

## いい失敗は、成功よりも価値がある。

新しい商品の開発だけでなく、たとえ長年ご愛顧をいただいている商品であっても「本当にこのかたちが最善なのだろうか?」「お客さまに喜んでいただいているのだろうか?」という視点を持つことから、新たなチャレンジがはじまります。

お客さまの声を聞き、対話を重ねながら具体的な改善策を見出し、かたちにしていく。自分からこのようなアクション

を起こせる人が、グループの中に少しずつ増えてきているように感じます。もちろん上手くいくことばかりではなく、失敗することのほうがむしろ多いかもしれません。

しかし、失敗の数が増えなければ、成功の数も増えないと考えています。大切なのは、失敗から何かを学び、PDCAを回していくことであり、その事案で結果を出せなかったとしても、経験は力として残り、次に活かすことができます。はじめから物事が上手くいき、却って何も学ばずに終わるよりも、いい失敗は、成功よりも価値がある。こうした考え方のもと、個々の挑戦を真の意味での成功へと結びつけられるような企業を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましても、ご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

統合マネジメントシステム

# JIS

[シムス]

SHIZUKI Integrated Management System

物づくり  
仕組みづくり事づくり  
人づくり社会の変化に合わせ進化し、  
仕組みづくり・人づくりを行う